

医療・環境など、市民の願いが実現！



日本共産党と市民の共同で

前進しました！

市民要求の実現のためにひきつづき全力をつくします



川崎区 佐野よしあき議員



幸区 ちくま幸一議員



中原区 市古てるみ議員



中原区 徳竹きよし議員



高津区 西村 英二議員



高津区 石田 和子議員



宮前区 石川けんじ議員



多摩区 井口 まみ議員

日本共産党

1 「ばら苑」の買取り実現！ 住民の粘り強い運動実る

市民の宝、向ヶ丘の「ばら苑」保存を求める市民の願いが叶えられることになりました。新年度の予算案で、多摩区生田緑地内の「ばら苑」と周辺の雑木林取得の予算（約10億円）が計上され、今後3年間で74%を順次買取ることになりました。生田緑地の保全にむけ市民の運動の貴重な成果です。



2 ぜん息患者の医療費、 窓口での支払い不要に

重度障害者への医療費は現在、窓口で立て替えて、後日給付（償還払い）されるしくみですが、今年10月から立て替え払いが不要となります（現物給付）。これまで、ぜん息患者については、「検討します」の答弁にとどまっていたましたが、日本共産党が「検討の進捗状況」を確認。健康福祉局長が「平成17年4月実施を目処に準備を進める」ことを明らかにしました



3 小児医療助成 制度が拡充へ

「就学前まで子どもの医療費の無料化を」との請願が毎年、市議会に提出されています。川崎市の小児医療費は、4歳児まで無料です。県内でも、就学前までの無料化を実施自治体は増え、横浜市も5歳児まで無料。日本共産党は、3月議会でも「5歳児までの拡充を」と要求、健康福祉局長は、「平成16年9月議会にて条例改正等を含め、引き続き検討していく」と、初めて条例改正の時期を明らかにして拡充を示唆する答弁をしました。



4 6月にも地下室マン ション規制条例制定へ

みどり守る実効力あるものにと市民の声も
「外観は9階建ての高層マンションなのに、3階建て扱い」建築基準法の抜け穴を利用して建設される高層マンションが、川崎市でも住民とのトラブルの元に。横浜市では、3月議会に地下室マンションを規制する条例案を提案。このままでは川崎市に駆け込み開発が...
日本共産党の質問に、まちづくり局長は、「6月議会にて条例提案する」「施行までは、条例の規制内容を暫定指針にまとめ、指導する」と答えました。しかし、条例化で、斜面地緑地の破壊が、規制範囲内で合法化されることにもなりかねない側面もあり、貴重な緑をしっかりと守れる内容にさせることが大切です。



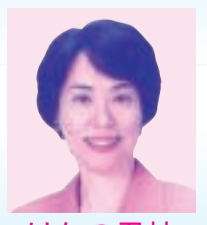
あと5000万円 あれば実現する 小学校1年生の 35人以下学級

新年度に少人数学習の指導教員が加配されますが、足りない分を市で非常勤講師を派遣すれば、全校で35人学級が実現できます。そのための予算は約5000万円です。



くらしと憲法を守ります

日本共産党
参議院議員



はたの君枝
国会対策副委員長
(神奈川選挙区)



小池 晃
党政策委員長
(比例区)